

「土地改良事業計画指針（農村環境整備）」の一部改正に伴う「日本農業集落排水協会－S₉₆型設計指針」（平成16年度改訂版）
の新旧対照表

初出項	新	旧	関連項目																				
P5	<p align="center">表-4-2 計画汚濁負荷量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計諸元 (g/人・日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td align="center"><u>54</u></td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質)</td> <td align="center"><u>54</u></td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (g/人・日)	BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>54</u>	SS (浮遊物質)	<u>54</u>	<p align="center">表-4-2 計画汚濁負荷量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">設計諸元 (g/人・日)</th> <th colspan="2">備考(内訳)</th> </tr> <tr> <th>尿尿排水 (g/人・日)</th> <th>生活雑排水 (g/人・日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td align="center"><u>60</u></td> <td align="center">18</td> <td align="center">42</td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質)</td> <td align="center"><u>60</u></td> <td align="center">20</td> <td align="center">40</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (g/人・日)	備考(内訳)		尿尿排水 (g/人・日)	生活雑排水 (g/人・日)	BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>60</u>	18	42	SS (浮遊物質)	<u>60</u>	20	40	<p>(P72)表-8.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式 (P76)表-8.2-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p>
項目	設計諸元 (g/人・日)																						
BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>54</u>																						
SS (浮遊物質)	<u>54</u>																						
項目	設計諸元 (g/人・日)	備考(内訳)																					
		尿尿排水 (g/人・日)	生活雑排水 (g/人・日)																				
BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>60</u>	18	42																				
SS (浮遊物質)	<u>60</u>	20	40																				
P5	<p align="center">表-4-3 計画流入水質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計諸元 (mg/L)</th> <th>備考(算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td align="center">200</td> <td align="center">54g/人・日 ÷ <u>270</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質)</td> <td align="center">200</td> <td align="center">54g/人・日 ÷ <u>270</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)	BOD (生物化学的酸素要求量)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000	SS (浮遊物質)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000	<p align="center">表-4-3 計画流入水質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計諸元 (mg/L)</th> <th>備考(算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td align="center">200</td> <td align="center">60g/人・日 ÷ <u>300</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質)</td> <td align="center">200</td> <td align="center">60g/人・日 ÷ <u>300</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)	BOD (生物化学的酸素要求量)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000	SS (浮遊物質)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000			
項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)																					
BOD (生物化学的酸素要求量)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000																					
SS (浮遊物質)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000																					
項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)																					
BOD (生物化学的酸素要求量)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000																					
SS (浮遊物質)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000																					
P34	<p>(3) 接触ばっ気槽の有効容量は、原則として BOD 負荷量 <u>54</u>g/人・日である沈殿分離槽からの流入汚水について BOD 容積負荷を 0.3kg/m³・日以下とすることができる容量を確保する。</p>	<p>(3) 接触ばっ気槽の有効容量は、原則として BOD 負荷量 <u>60</u>g/人・日である沈殿分離槽からの流入汚水について BOD 容積負荷を 0.3kg/m³・日以下とすることができる容量を確保する。</p>	<p>(P36)表-7.2-1 接触ばっ気槽に係る有効容量の算定式</p>																				
P70	<p>(2) 汚泥濃縮貯留槽の有効容量は、余剰汚泥の発生量、維持管理頻度及び濃縮汚泥の引抜き計画等を勘案し、原則として濃縮汚泥量の <u>25</u>日分以上に相当する容量以上とする。</p>	<p>(2) 汚泥濃縮貯留槽の有効容量は、余剰汚泥の発生量、維持管理頻度及び濃縮汚泥の引抜き計画等を勘案し、原則として濃縮汚泥量の <u>30</u>日分以上に相当する容量以上とする。</p>	<p>(P71) [構造] (1) 濃縮汚泥貯留日数 (P72)表-8.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式</p>																				
P72	<p>表-8.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式 α：設計汚泥転換率（ただし、日本農業集落排水協会－S₉₆型を活用した汚水処理施設にあっては、除去 BOD 量の <u>40</u>%を標準とする。）</p>	<p>表-8.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式 α：設計汚泥転換率（ただし、日本農業集落排水協会－S₉₆型を活用した汚水処理施設にあっては、除去 BOD 量の <u>30</u>%を標準とする。）</p>	<p>(P76)表-8.2-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p>																				
P75	<p>[構造] (1) 汚泥貯留槽の有効容量は、原則として <u>25</u>日分以上とする。</p>	<p>[構造] (1) 汚泥貯留槽の有効容量は、原則として <u>30</u>日分以上とする。</p>	<p>(P76)表-8.2-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p>																				